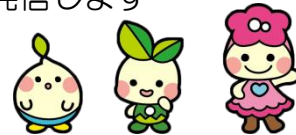


# 中野こども病院ニュース

令和元年10月10日発行 第74号

中野こども病院から患者保護者の皆様へ“今知ってほしい”情報を発信します

## インフルエンザの予防接種を受けましょう！



インフルエンザは基本的に自然に治りますが、気管支炎・肺炎、クループ症候群、熱性けいれん、心筋炎などの合併症、特に幼児ではインフルエンザ脳症という重症な合併症があり注意が必要です。治療法としては抗ウイルス剤のタミフルやリレンザなどを使用します。

予防にはワクチンを接種することが有効で、合併症や重症化を防ぐことができます。小児（0～12歳まで）は抗体がつきにくいので2回接種が必要です。1回目から4週間程度あけて2回目を接種したらよいでしょう。予防接種の効果が出るまでには2週間程度かかりますので、流行期になる前に早めに接種しましょう。

### なぜインフルエンザは毎年予防接種を受けなければならないのか？

毎年流行する型が違うので予防接種の内容もその年の流行に合わせたものになります。そのため毎年流行する前に予防接種が必要になります。

中野こども病院のインフルエンザ予防接種開始日は10月23日（水）です

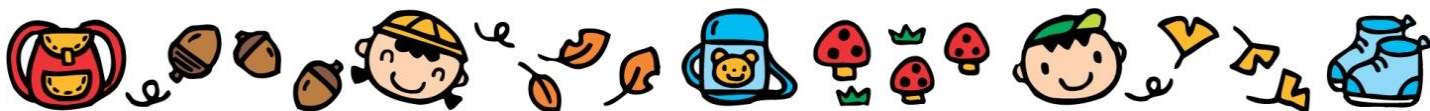
毎週 月、火、水、金曜日 時間 13:30～15:00

※水曜日の同時接種は受け付けていません

インフルエンザのみの予防接種受付になります

費用1回：3000円

※予約制ですので電話もしくは受付で御相談下さい。 電話予約 06-6952-4771  
月曜日～金曜日の9:00～10:30もしくは15:30～17:00の時間帯にお電話下さい。



### マイコプラズマ感染症ってどんな病気？

小学生や中学生で流行しています。マイコプラズマという、ちょっと変わった細菌による感染症で、おもに呼吸器系に感染して、肺炎や気管支炎を起こします。症状の特徴は、がんこな咳です。ただ胸の聴診をしても雑音がしにくいいため、肺炎が見逃されることがあります。比較的元気なのに1週間以上咳が続くようなときは要注意です。

### どうやって感染するの？

飛沫感染といって、唾液の中に菌が含まれており、感染者の咳を濃厚に浴びることで感染します。ですから、兄弟間や仲の良い友達間で感染しやすくなります。

### 治療する薬は？

一般的には、マクロライド系という抗生物質が使用されます。通常は内服後3日以内に症状の改善傾向を認めます。しかし最近では耐性菌という、マクロライド系抗生物質が効かないマイコプラズマも増加しており、適切量を3日間服用しても改善しなければ、別の薬に変更します。

### 当院の流行状況

RSウイルスの検出数が依然として多数報告されています。

まだまだ流行は続く予想です。

マイコプラズマ感染症が流行しています。

学童期のお子様で咳が続いている場合は可能性が高いです。

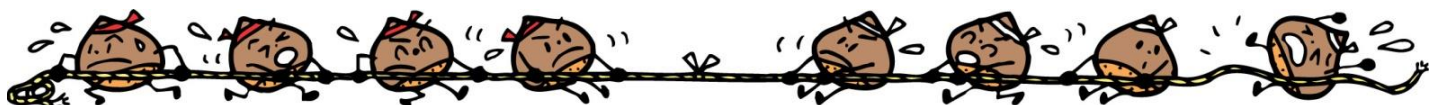
今シーズンすでにインフルエンザA型が検出されています。まだ検出数は少ないですが流行期が早まる可能性があります。



〒535-0022 大阪市旭区新森4-13-17  
社会医療法人 真美会 中野こども病院  
TEL: 06-6952-4771

<http://www.nakano-kodomo.or.jp>

# 10月の製作物です！



## 当院を受診される患者保護者様へ

- 駐輪場が病院北側にあります。自転車で来院の際はご利用ください。
- お車で来院される際は、病院南側の立体駐車場をご利用ください。病院受診時や面会時にも無料でご利用いただけます。詳細は常駐している警備員にお声かけください。近隣のご迷惑になりますので路上駐車は絶対におやめください。
- 病院本館東側に車寄せがあります。患者様の乗り降ろしや、入院時の荷物の運搬やお迎えなどにご利用ください。なお、長時間の駐車はご遠慮ください。
- 待合の椅子には限りがあります。子どもたちが座れないことがないように、混雑時は譲り合っておかけ下さい。少しでも待合に多くの患者様が座って頂けるよう、ご協力宜しくお願い致します。
- 当院は全館禁煙、敷地内も禁煙となっております。病院の外で喫煙されても煙が病院内に入ってくることもありますので、病院周辺での喫煙もご遠慮ください。また、たばこのポイ捨ても絶対にしないでください。病気で来ている子どもたちのためにもご協力よろしく申し上げます。
- 診察、検査、処置が終わるまで飲食はご遠慮ください。もどしたり、咳込みの原因になります。